

施策評価シート(平成29年度)

(基本施策の大綱) 2. 健康で生きがいを持てる暮らしの充実

(基本施策) (7)スポーツの推進

(評価担当者)

生活文化部長

佐久間 利夫

■基本施策が目指す姿

市民が、スポーツに関心を持ち、生涯を通じて心身ともに健康な生活を送るためスポーツを楽しんでいます。

■関連する分野別計画

第2次亀山市スポーツ推進計画

■成果指標

		単位	現状値		実績値					目標値
					H29	H30	H31	H32	H33	
1	市や団体等が主催するスポーツ教室・大会の参加者数	人	19,900	H27	24,158					21,000
2	市内の主な運動施設の利用率	%	72.0	H27	72.1					78.0
3	スポーツ関連団体の構成者数	人	4,754	H27	5,790					5,000
4										
5										

■市民アンケート調査

項目			現状値 [H27]	1次 [H30]	2次 [H32]	市民アンケートの考察
1	スポーツ施設が充実している	重要度	0.91			
		満足度	▲ 0.11			
2		重要度				
		満足度				
3		重要度				
		満足度				
4		重要度				
		満足度				
5		重要度				
		満足度				

■総合評価

総合判定	左記の総合判定とした理由
A 順調に進んでいる	スポーツ活動の推進、スポーツの拠点づくりでは、施策が着実に進捗しており、個別判定においてもAとしている。 スポーツ団体の育成と競技力の向上、スポーツ文化の浸透については、各活動、成果共にAとしており、個別判定においてAとしている。 スポーツ団体の育成と競技力の向上は、成果が表れることに時間を要するものであるものの、活動は着実に進んでいるものと考えられ、個別判定をBとしている。 成果指標については、3指標中2指標ですでに目標値を上回っており、残る1指標についても実績値が現状値を上回っている。以上から総合判定をAとした。
反省点・課題	
今後、計画期間内にインターハイ、三重国体、東京オリンピック等が予定されていることから、これらの確実な実施に向けて着実に準備を進める中で、市民のスポーツに関する関心を高めていく必要がある。 競技力の向上については、スポーツ団体との連携の中で、競技者への支援の充実とともに、指導者・支援者の充実を図る必要がある。 スポーツ文化の浸透については、「健都」を強く意識する中で、体力づくりや健康づくりについて、関連部局との連携により、具体的な施策を進めていく必要がある。	

今後の展開方針

インターハイ、三重国体等の大規模大会に向けた準備を確実に進める。
スポーツ団体の活動を支援するとともに、スポーツ団体との連携のもと、競技者の支援を充実させる。
「健都」に向けて、市民の体力づくり、健康づくりに全力的に取り組む。

(施策の方向に関する評価)

施策の方向① スポーツ活動の推進							
(個別判定)		活動	【施策に対し、どのような取り組みを行ったか】	評価	【左記の活動により、施策は推進できているか】		
A			総合型スポーツクラブ、亀山市体育協会(スポーツ少年団体連絡協議会含む)を支援し、各団体による各種スポーツ教室や大会などが数多く開催された。 スポーツ推進委員との連携により、市体力テスト、壮年ソフトボール大会開催に向けた取り組みを行った。		各種教室や大会の開催により、市民がだれでも気軽にスポーツや運動に取り組める幅広い参加機会が得られた。各スポーツ少年団体を中心に、学校や地域、家庭との連携をもって子どもがスポーツや運動に取り組む環境づくりが進んだ。スポーツ推進委員の活動により、誰でも気軽に取り組めるニュースポーツの普及が進んだ。		
順調に進んでいる							
関連事業	番号	事務事業の名称		区分	予算額/決算額 [千円]	活動	成果
	19088	一般事業(スポーツ振興事業)		標	5,245 / 4,810	A	A
	19314	総合型地域スポーツクラブ育成事業		標	760 / 668	A	A
	19192	美し国三重市町対抗駅伝大会費		標	1,200 / 1,200	A	A
事業以外の取組	内容					活動	成果

施策の方向② スポーツの拠点づくり								
(個別判定)		【施策に対し、どのような取り組みを行ったか】			【左記の活動により、施策は推進できているか】			
A	活動	西野公園の体育館空調設備工事、体育館床補強工事、プール改修工事を実施した。 学校体育施設の開放に関わるグラウンド照明灯や体育館照明の修繕等を行った。			評価	国体やインターハイなどの大規模大会に向け、施設環境の整備を進め、施設利用者の利便性の向上が図れた。 地域の活動拠点となる学校体育施設の修繕に努め、施設の有効活用を進めた。		
		順調に進んでいる						
関連事業	番号	事務事業の名称			区分	予算額/決算額 [千円]	活動	成果
	17058	西野公園改修事業(運動施設)			主	23,510 / 23,350	A	A
	2010	地域社会振興会運営事業			標	29,177 / 27,577	A	A
事業以外の取組	内容						活動	成果
	学校体育施設の開放						A	A

施策の方向③ スポーツ団体の育成と競技力の向上								
(個別判定)		【施策に対し、どのような取り組みを行ったか】			【左記の活動により、施策は推進できているか】			
B	活動	亀山市体育協会とスポーツ少年団体連絡協議会、亀山スポーツ連合会の組織統合を支援した。 亀山市体育協会に対し補助金を支出し、活動支援を行った。 全国大会出場者に対する激励金や出場旅費補助金を支出した。			評価	各スポーツ団体の統合により、亀山市体育協会の組織強化や活動支援を行い、市内のスポーツ活動の活性化が図れた。 全国大会出場に伴う激励金や旅費補助により、有能な競技者への支援により、スポーツ競技力の向上が図れた。		
		まずまず進んでいる						
関連事業	番号	事務事業の名称			区分	予算額/決算額 [千円]	活動	成果
	19089	団体支援事業(スポーツ振興事業)			標	9,900 / 9,900	A	B
						/		
事業以外の取組	内容						活動	成果

施策の方向④ スポーツ文化の浸透									
(個別判定)		【施策に対し、どのような取り組みを行ったか】			【左記の活動により、施策は推進できているか】				
A		活動	評価			インターハイや国体の開催に向け、当局開催競技のPRを行うとともに、トップアスリートを身近に感じられる機会を創出したことで、市民のスポーツに対する興味が向上するよう取り組んだ。 ウォーキングやヨガ教室などの開催機会をホームページ等で情報発信し、参加者を増やし、市民の体力づくりや健康づくりの向上を図った。			
順調に進んでいる									
関連事業	番号	事務事業の名称			区分	予算額/決算額 [千円]		活動	成果
	17059	国民体育大会開催準備事業			主	895 / 895		A	A
	17060	全国高等学校総合体育大会開催事業			主	1,756 / 1,756		A	A
事業以外の取組	内容							活動	成果